

活動レポート

青年技術士交流委員会

文責：青年技術士交流委員会幹事 永田泰浩

「学校へ行こう！」で「学園へ行こう！」

■はじめに

すっかり青年技術士交流委員会の年間行事として定着している「学園へ行こう！」を今年も行いました。「学校へ行こう！」は、平成 20 年度から始まった青年技術士交流委員会の活動です。活動のきっかけは、

「最近、理系の学生がどんどん文系就職するって、大学の先生が困っていたよ」

「理系離れが進んでるって話もあるよね」

「でも自分らが学生るとき技術士って知ってた？」

「……（一同沈黙）……」

ということで、以下の目標を持って取り組んでいます。

- ①工学系に進んだ学生に、技術者という仕事に就くことの魅力を伝える
- ②せっかく技術者になるのだったら、技術者の最高資格である技術士になることの魅力を伝える
- ③せっかく技術士になるのだったら、青年技術士交流委員会に入ることの魅力を伝える♪

このようにして始まった「学校へ行こう！」ですが、これまでも平均年 2 回程度のペースで北海学園大学や北海道内各地の高等専門学校（専門学校）の学生、先生を対象として、技術士の仕事っぷり、技術士という資格の位置づけから、実際に働いて楽しいことや辛いこと、お給料や残業の話など、現場の生の声を伝え、学生だけでなく、先生からも好評を博してきました。

北海学園大学工学部は、JABEE 認定の技術士一次試験免除の教育機関でもあり、平成 20 年度の初回から 4 年連続で毎年 1 回、「学校へ行こう！」改め「学園へ行こう！」を開催しており、今回もお邪魔させていただくことになりました。

■講演者の決定！

「学園へ行こう！」の開催が決まった段階で、すぐに学生に生の声を聞かせてくれる技術士を探しました。

講演者の決定前に北海学園にうかがった際、今回担当してくださった余湖教授がおっしゃった「北海学園の先輩だと学生達も自分の将来像と重ねあわせやすい」、「今年度は優秀な女子学生が多く、彼女らの将来にも役立つ講演だといいな」という声をヒントにしました。それを踏まえて技術士を探した結果、当日の講演者は、同大学出身で且つ 30 歳過ぎとまだ若い（社）北海道開発技術センターの大井技術士と、育児と仕事を両立してきた女性技術者、（株）建設維持管理センターの田原技術士という顔ぶれになりました。

■準備

技術士の資格試験には口答試験があります。プロポーザルでのヒアリングや業務報告など、技術士は人前である程度しゃべれる人が多いと思います。しかし、これまで 3 年間行ってきた「学校へ行こう！」を通じて、学生に技術的な話を理解してもらう難しさ、そして、学生達の興味を引く話術の難しさを実感してきました。

このようなこともあり、今回も講演者の大井技術士、田原技術士には青年技術士交流委員会幹事の出席する 2 回の事前ミーティングにお付き合いいただきました。自分の技術分野ではごく当たり前に使われているテクニカルタームや手法、技術が、他分野の技術者の視点では、理解ができなかったりすることもあり、2 回のミーティングを通じて、そのような点を学生が理解しやすいようにブラッシュアップしてもらいました。

■当日(平成23年10月31日10時40分～12時10分)

90分1本勝負は、以下のような構成で行われました。

- ①技術士とは 東本 靖史 技術士(10分)
- ②講演 1 大井 元揮 技術士(20分)
- ③ // 2 田原さゆり 技術士(20分)
- ④質問タイム (30分)

はじめに青年技術士交流委員会の東本技術士が、「技術士とは?」と題して、技術士の資格と意義、資格取得までのステップなどの説明を行いました。

大井技術士は、契約職員から始まった変わった経歴から自らが持つ強烈な残業記録などを、笑いを交えて軽快なテンポで話をされ、最後にはそのような過激な労働環境の中でも仕事を通じて得ることの喜びがいかに大きいかを熱く語っていらっしゃいました。学生の感想にも「聞きやすく、笑いもあり、そして伝えたいことが伝わってくる興味深い講演でした」、「大井さんは僕たちと近い立場や目線で話して頂き、とても聞きやすく、自分の将来像が想像しやすかった」などの声がありました。

一方、田原技術士は、女性技術者として歩んできたこれまでの経歴をはじめ、男性の多い建設業界で働くことで感じていることや、技術士の取得前後で発注者の対応の大きな差に驚いたことなどを、経験を交えて話されました。質問タイムでは「女性の技術者として働きづらい点」や「困ったこと」、「産休や育児との両立」など、女子学生からの質問が目立ち、感想記入用紙にも「女性技術者は少ないので、女性ならではの問題をリアルな視点で聞けて良かった」という声がありました。

質問タイム終了後に集めた学生の感想には、「大井さんも田原さんも生き生きされていて、技術士が魅力的に感じました」、「将来技術士を取りたい」など、前向きな記述が多くありました。

「学校へ行こう!」で講演をやってみませんか?

青年技術士協議会では、大学生や高等専門学校生へ、技術士の仕事の魅力を伝えてくださる講演者を募集しています。

技術士の資格をお持ちの方で、本番前のミーティングに参加いただける方のご参加をお待ちしております。

ご興味をお持ちいただけましたら、お近くの青年技術士交流委員会幹事までご一報ください!

■終了後

終了後に余湖教授がおっしゃった「あんなに学生達がまじめに授業を聞いているのはみたことがない!」という一言は、参加した青年技術士交流委員会幹事のメンバーのテンションをまた上げてしまったのでありました。



写真1 お前ら気合入れろ!と闘魂注入する大井技術士



写真2 出席した学生を引き込む田原技術士の講演



写真3 教室いっぱい集まった技術士のタマゴ達